

共同運営部門：内視鏡検査センター

—スタッフ—

役 職	スタッフ名
内視鏡センター長 兼消化器内科部長	高谷 宏樹
非常勤医師	月曜 午前1名 火曜 午前午後2名 水曜 午前午後1名 木曜 午前1名、午後2名 金曜 午前午後1名 (1名減)

—概要—

2017年1月以降高谷赴任に伴い、消化器内科入院での大腸EMR、外来での大腸ポリープポリペクトミー、食道胃ESD、待機的ERCP、緊急ERCPが行えるようになり内視鏡件数、処置数、単価が大幅に増加している。

内視鏡学会指導医・専門医1名、専門医3名(内外科医2名)が当院に常勤として在籍しており日本消化器内視鏡学会認定指導施設となっている。

当院で研鑽を積むことで日本消化器内視鏡学会認定専門医、指導医の取得が可能である。

—実績—

内視鏡件数

上部内視鏡検査	2,141件
止血術	35件
ステント留置	10件
EUS	15件
ESD	16件
ERCP	74件
下部内視鏡検査	1,059件
止血術	12件
粘膜切除術	157件
ステント留置	10件

—今年度の成果と反省点・来年度への抱負—

内視鏡検査室の不足、内視鏡検査機器、特に拡大内視鏡がないこと、超音波内視鏡専用機がないこと、小腸内視鏡がないこと、電気メス(VIO300D)がないため十分な内視鏡医療を提供できないことから今後の整備が望まれる。

消化器内科常勤医師の確保、検査室の増床、機器の整備を行うことで投資効果は十分に期待できる部門である。

特に胆管結石や胆膵の腫瘍に対してのERCP関連、専用機を使用したEUS、大腸内視鏡検査、EMRについては伸びしろがある。これらの症例数の増加と、人材の獲得を図りたい。